DRETEC

# KAGUYA

## 取扱説明書 保証書付

～ 電気ケトル「カグヤ」～

品番 **PO-311**

※ご使用の際の危険や注意を促すものですので本体の警告シールは、はがさずにご使用ください。

※本製品は湯沸かし専用ケトルです。

## 取扱説明書
### 保証書付

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。正しく安全にご使用していただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、本書には保証書が付属されております。お読みになりましたら、大切に保管してください。

### 目　次


便利なポイント …… 1
安全上のご注意 …… 2～6
各部の名称 …… 7
ご使用の前に …… 7
ご使用方法 …… 8～10
お手入れの方法 …… 11
製品仕様 …… 11
故障かな？と思ったら …… 12
アフターサービスについて …… 12

# 便利なポイント

■60℃/80℃/100℃のお湯を沸かせる、温度設定機能。

■マイコン制御の保温機能（設定温度到達後 10 分間）。

■沸き上がりや温度設定値が一目でわかる、カラー LED 搭載。
（白・緑・オレンジ・赤）

■倒れても湯漏れを抑える、転倒湯漏れ防止機能。

■ほこりの侵入を防ぐ、注ぎ口フラップ付。

■スイッチは、触れるだけで操作ができるタッチセンサータイプ。

■本体が熱くなりにくい二重構造。

■お手入れ簡単ステンレス内容器。

■コーヒー 1 杯分（140cc）の電気代が、約 0.6 円。お湯が沸くまで、約 1 分 40 秒。

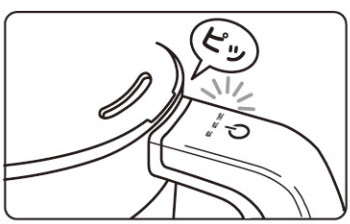
（※注） 上記の電気代は電力料金目安単価 22 円／ kWh（税込）で算出しております。
この単価は電力会社により異なる場合があります。なお、この単価に基本料金は含まれておりません。

■お湯が沸くと、自動的にスイッチが切れる「自動電源 OFF」機能。

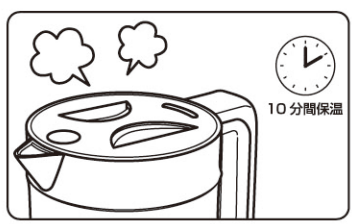
■水が入っていない状態で間違ってスイッチが入っても電源が切れる、「空だき防止」機能がついた安全設計。

■本体がコードレスだから 360° どの方向からも着脱可能。注ぎやすく、持ち運びにも便利。

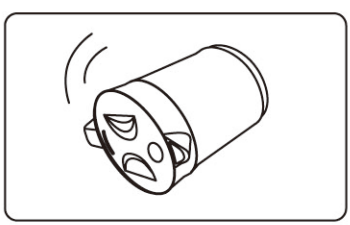
■給電スタンドの底面にコードがスッキリ収納。




音と 4 色のカラー LED で湯沸かし状況を知らせる、タッチセンサー操作部。




マイコン制御の保温機能（10 分間）



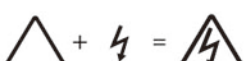
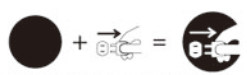
転倒してもお湯が漏れにくい、転倒湯漏れ防止機能

ほこりの侵入を防ぐ、注ぎ口フラップ

# 安全上のご注意

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しております。このマークは、誤った取扱をすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示している事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

| 警告マークの種類 | 警告マークの内容 |
|---|---|
| | この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 |
| | この記号は、行為を強制したり指示したりする内容のものです。 |
| ⚠ 危険 | 人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。 |
| ⚠ 警告 | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 |
| ⚠ 注意 | 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。 |
| 例  感電注意 | △記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。 |
| 例 分解禁止 | ⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容（左図の例では分解禁止）が描かれています。 |
| 例  電源プラグをコンセントから抜いてください | ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。 |



# 安全上のご注意

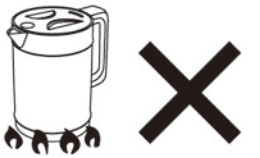
● 感電・やけど・火災・故障などを防ぐために、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠ 危険

電源コネクタ部分はケトル本体と給電スタンドとの通電部分です。金属製クリップやヘアーピンなどの異物を接触させないでください。感電・ショート・発火の原因となります。

⚠ 危険

直火は使用できません。



⚠ 警告

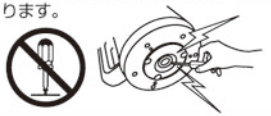
使用中、電源プラグ・電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。

⚠ 警告

定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



⚠ 警告

ケトル本体底部や給電スタンドを水に浸さないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

⚠ 警告

加熱中もしくは加熱後しばらくはケトル本体胴部やフタ、蒸気穴、注ぎ口周辺には手を近づけないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠ 警告

お子様に使用させないでください。また、幼児・乳幼児のそばで使用したり、手の届く所に置かないでください。。

# 安全上のご注意

## ⚠警告
強い衝撃を与えないでください。破損・故障・短寿命の原因となります。

## ⚠警告
交流 100V 以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

## ⚠警告
電源コードや電源プラグがいたんでいたり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

## ⚠警告
電源プラグのほこりなどは、定期的に取ってください。プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

## ⚠警告
ぬれた手で、電源プラグの抜きさしをしないでください。感電の原因になります。

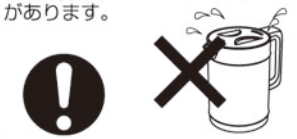
## ⚠警告
電源プラグは根元まで確実にさし込んでください。さし込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグや緩んだコンセントは使わないでください。

## ⚠警告
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。コードを持って引き抜くと感電・ショート・発火することがあります。

## ⚠警告
使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠警告
MAX 目盛以上の水を入れないでください。吹きこぼれ・やけどをするおそれがあります。



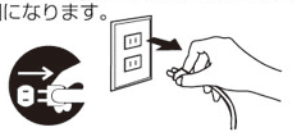
## ⚠警告
給電スタンドは本製品専用です。他製品に使用しないでください。また、ケトル本体にも他製品の給電スタンドを使用しないでください。

## ⚠警告
不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテン等の可燃物の近くで使わないでください。火災の原因になります。

## ⚠警告
フタを勢いよく開け閉めしないでください。お湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。また、ケトルを傾けたり、ゆすったり、ハンドル以外を持って移動したりしないでください。お湯が流れ出てやけどのおそれがあります。

## ⚠警告
コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

## ⚠注意
お手入れの際は、スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。けがの原因になります。



## ⚠注意
使用中、給電スタンドにケトル本体をのせたまま移動させないでください。けがや故障の原因となります。

## ⚠注意
加熱中はフタを開けないでください。自動電源OFF機能が正常に動かない原因になります。また、お湯の蒸気によってやけどをするおそれがあります。

# 安全上のご注意

**⚠注意**
加熱中、加熱直後はフタを開けたり、差し水をしたりしないでください。お湯が飛び散ったり、高温の蒸気による、やけどの原因になります。

**⚠注意**
水以外のものをケトル本体に入れて加熱しないでください。故障の原因となります。

**⚠注意**
水、またはお湯の入っていない状態でスイッチを入れないでください。空だき防止機能が働き電源が切れますが、本体内部のプレート部分が熱くなり、やけどや故障の原因となります。

**⚠注意**
本体のお手入れの際は使用直後をさけ、本体が冷めてから行なってください。また、本体金属部やフタの突起部でケガをしないようご注意ください。

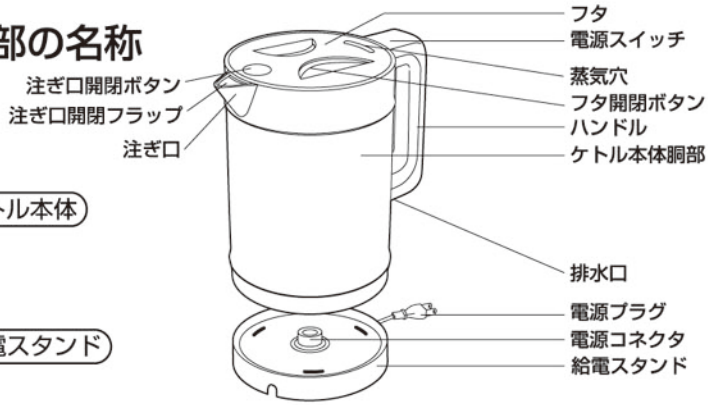
**⚠注意**
長時間直射日光が当たる場所、ペットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しないでください。本体の変形、故障、事故、火災の原因となります。

**⚠注意**
破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。廃棄する際は、お住まいの地域の指示に従い分別してください。

**※本製品は湯沸かし専用です。お茶などを煮出さないでください。**
**※本製品は一般家庭用です。**
**※本製品は日本国内のみで使用してください。**



# 各部の名称




# ご使用の前に

## 1 コードをセットする。

コードを巻いて給電スタンドの切り込みにきちんとセットしてください。

⚠注意 切り込み部にきちんとセットしていないとガタつくことがあります。

## 2 給電スタンドを置く。

給電スタンドを清潔で平らな安定したところに置いてください。

⚠注意 乳幼児の手の届くところには置かないでください。

## 3 フタの開け方、閉め方

フタを開けるときはハンドルを持って、フタ部分にある2つのボタンをつまむようにして押しながら、上に引き上げます。フタを閉めるときは、フタの2つのボタンをつまむようにして、フタの凸部分と取手側の溝を合わせ、カチッと音がするまで、しっかりと押し込んで閉めてください。

⚠注意 お湯を沸かしている最中や湯沸かし直後は、フタや本体のステンレス部が大変熱くなっていますので、ステンレス部に触ったり、フタを開けたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどをするおそれがあります。

# ご使用方法

## ～準備～

初めて使用する際は、ケトル本体の中をよく洗い、念のため下記「～お湯を沸かす～」の要領で一度お湯を沸かし、動作を確認してください。確認できましたらそのお湯を捨ててください。

## ～お湯を沸かす～

### 1 フタをはずし、ケトル本体に水を入れてください。

●初めてケトルを使用する際は、2～3 回は念のためすすいでからご使用ください。
購入時に本体の内側に汚れがついている場合がありますが、これは検品で使用した水に本来含まれているミネラル成分の作用によるもので、衛生上問題ありませんのでご安心ください。

⚠ 警告 **MAX 目盛以下の容量範囲でご使用ください。( MAX目盛は本体内側に表示してあります。)**
水を入れすぎますと、ふきこぼれるおそれがあります。また、逆に少なすぎると空だき防止機能や自動電源 OFF 機能が正常に働かない原因になります。

⚠ 注意 給電スタンドの上にケトル本体をセットした状態のままで水を注ぐことはしないでください。

### 2 フタをして給電スタンドの上へセットしてください。

●不安定な場所に置くとお湯がこぼれてやけどすることがあります。

⚠ 注意 給電スタンドの切り込みにコードをセットしてください。
給電スタンドは平らな安定したところに置いてください。

⚠ 注意 給電スタンド・電源コネクタ部分に異物がはさまっていないこと。また電源コネクタ部分が完全に乾いていることを確認してからセットしてください。

⚠ 注意 フタを入れる際は、蒸気口をハンドル側にして入れ、カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

### 3 電源プラグをコンセントにさし込み、電源を入れてください。

●電源スイッチの「⏻」と表示されている部分に指で触れます。電源が入ると「ピッ」と音がして「⏻」に白、「100℃」に赤のライトが点灯し、加熱を開始します。
●お湯が沸騰すると「ピピピッ」と音がして、赤と白のライトが点滅してお知らせします。
（コーヒー 1 杯分約 140cc を沸かすのに約 1 分 40 秒かかります。）
●電源スイッチは触れるごとに、「通常湯沸かし / 赤ライト」→「60℃設定 / 緑ライト」→「80℃設定 / オレンジライト」→電源 OFF 状態 を繰り返します。

⚠ 注意 加熱中、加熱後しばらくは本体胴部・注ぎ口や蒸気口は非常に高温となります。手や顔を近づけないようにご注意ください。

⚠ 注意 加熱中、加熱直後は絶対にフタを開けないでください。高温の蒸気が吹き出し、やけどするおそれがあります。

⚠ 注意 注ぎ口のフラップが閉じていることを確認してください。



# ご使用方法（つづき）

### 4 沸騰したら自動で電源が切れます。

●沸騰後、自動でライトが消え電源が切れます。
●沸騰状態がおさまったら、注ぎ口開閉ボタンを押して注ぎ口を開け、ハンドルをしっかり持ってお湯を注ぎます。
●「⏻」のライトが消えているのを確認してから注いでください。
●沸騰中や沸騰直後にフタを開けたりしないでください。
やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意 使用後は「⏻」のライトが消えているのを確認してください。



⚠ 注意 お湯を注ぐ際は勢いよくケトル本体を傾けないでください。
お湯があふれ、やけどするおそれがあります。

### 5 注ぎ口開閉ボタンを押してから、お湯を注ぎます。

## ～定温保温（60℃）～

### 1 フタをはずし、ケトル本体に水を入れてください。

### 2 フタをして給電スタンドの上へセットしてください。

### 3 電源プラグをコンセントにさし込み、電源を入れてください。

●電源スイッチの「⏻」と表示されている部分に触れます。電源が入ると「ピッ」と音がして「⏻」に白、「100℃」に赤のライトが点灯し、加熱を開始します。
●もう 1 度「⏻」に触れると、「ピッ」と音がして「60℃」に緑のライトが点灯し 60℃に加熱を開始します。(白のライトは点灯したままです。)
●60℃になったら、「ピピピッ」と音がして、緑と白のライトが点滅してお知らせします。
●電源スイッチは触れるごとに、「通常湯沸かし / 赤ライト」→「60℃設定 / 緑ライト」→「80℃設定 / オレンジライト」→電源 OFF 状態 を繰り返します。

⚠ 注意 加熱中、加熱後しばらくは本体胴部・注ぎ口は非常に高温となります。手や顔を近づけないようにご注意ください。

⚠ 注意 加熱中は絶対にフタを開けないでください。高温の蒸気が吹き出し、やけどするおそれがあります。

### 4 湯温が 60℃に到達してから、保温を開始します。(約 10 分間)

●保温中は緑のライトが点滅を続けます。
●一定の温度まで下がると、60℃まで再加熱をします。
( 保温中の再加熱時には音は鳴りません )
●保温が不要な場合は、電源スイッチに 2 度触れて電源を切ってください。

# ご使用方法（つづき）

**5** 約 10 分したら自動で電源が切れます。

●約 10 分経過すると、自動でライトが消え電源が切れます。

**6** 注ぎ口開閉ボタンを押してから、お湯を注ぎます。

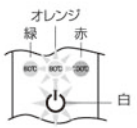
## ～定温保温（80℃）～

**1** フタをはずし、ケトル本体に水を入れてください。

**2** フタをして給電スタンドの上へセットしてください。

**3** 電源プラグをコンセントにさし込み、電源を入れてください。

●電源スイッチの「⏻」と表示されている部分に触れます。電源が入ると「ピッ」と音がして「⏻」に白、「100℃」に赤のライトが点灯し、加熱を開始します。
●もう 1 度「⏻」に触れると、「ピッ」と音がして「60℃」に緑のライトが点灯し 60℃に加熱を開始します。（白のライトは点灯したままです。）
●もう 1 度「⏻」に触れると、「ピッ」と音がして「80℃」にオレンジのライトが点灯し 80℃に加熱を開始します。（白のライトは点灯したままです。）
●80℃になったら、「ピピピッ」と音がして、オレンジと白のライトが点滅してお知らせします。
●電源スイッチは触れるごとに、「通常湯沸かし / 赤ライト」→「60℃設定 / 緑ライト」→「80℃設定 / オレンジライト」→電源 OFF 状態 を繰り返します。




⚠ 注意 加熱中、加熱後しばらくは本体胴部・注ぎ口は非常に高温となります。手や顔を近づけないようにご注意ください。

⚠ 注意 加熱中は絶対にフタを開けないでください。高温の蒸気が吹き出し、やけどするおそれがあります。

**4** 湯温が 80℃に到達してから、保温を開始します。（約 10 分間）

●保温中はオレンジのライトが点滅を続けます。
●一定の温度まで下がると、80℃まで再加熱をします。
（保温中の再加熱時には音は鳴りません）
●保温が不要な場合は、電源スイッチに触れて電源を切ってください。

**5** 約 10 分したら自動で電源が切れます。

●約 10 分経過すると、自動でライトが消え電源が切れます。

**6** 注ぎ口開閉ボタンを押してから、お湯を注ぎます。

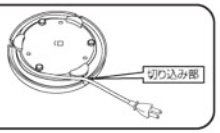
※ 保温中にケトルをスタンドから離すと、電源が切れます。
※ 湯温が設定温度よりも高い場合には、設定すると「ピピピッ」と音が鳴り保温状態になります。



# お手入れの方法

**電源コードの収納**

電源コードは給電スタンドに収納することができます。
給電スタンドの裏にコードを巻きつけ、給電スタンド切り込み部分にコードをセットします。
収納時・使用時いずれの場合もコードは必ず切り込み部分にセットして使用してください。




⚠ お手入れは必ず電源プラグを抜き、ケトル本体が冷めた状態で行なってください。

### ～本体外側・給電スタンドのお手入れ～

●乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたく絞った布で拭き取ってください。丸洗いやシンナー・ベンジン・灯油などの有機溶剤、研磨剤入り洗剤の使用はおやめください。
●故障の原因になりますので、水をかけたり、水の中に入れたりしないでください。
●みがき粉やクリームクレンザーなどを使用しますと本体に傷をつけるおそれがありますので、使用しないでください。

### ～本体内側のお手入れ～

●ケトル内側の白い汚れは、水に含まれるミネラル成分が固着したものです。（注）衛生上問題はありませんが、定期的に以下の方法でお手入れをしてください。

1. 中性洗剤とスポンジで洗った後、水でよくすすいでください。その後は乾いたふきんでしっかりと拭いてください。
2. ステンレス部分は、表面が傷つきますので強くこすらないでください。
3. 汚れが落ちにくい場合は市販されているクエン酸をご使用されますとよりきれいになります。（汚れによっては落ちにくい場合があります。）
   水は注ぎ口より捨ててください。以下の手順にしたがっておこなってください。

1) 水を MAX 目盛り（1.0L）まで入れ、その中にクエン酸を 30g 程度入れてかき混ぜてください。
2) フタを閉めて沸騰させ、その後 1 時間放置します。
3) お湯を捨て、水でよくすすいでください。汚れが残っている場合は、スポンジ等で拭き取ってからよくすすいでください。
4) クエン酸のにおいが気になるようでしたら、さらに水でよくすすいでから再度水を入れて沸騰させてからお湯を捨ててください。

● 本製品は食器洗い乾燥機のご使用ができません。

（注）水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分の作用により赤いサビ状、白い斑点状のものが現れる場合があります。市販のミネラルウォーターをご使用になると特に多く付着することがありますが衛生上問題ありません。※汚れが目立ってきましたら、クエン酸で洗浄することをおすすめします。（上記参照）

# 製品仕様

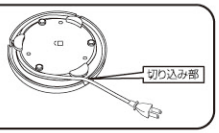
| | | | |
|---|---|---|---|
| 電　源 | AC100V　50Hz/60Hz 共用 | サイズ | 幅 220× 奥行 142× 高さ 205（mm） |
| 定格消費電力 | 900W | コード長さ | 約 1.2m |
| 最大容量 | 1.0L | 重　量 | 約 900g |
| 材　質 | 本体／ポリプロピレン・ステンレス　フタ／ポリプロピレン<br>ハンドル／ポリプロピレン　給電スタンド／ポリプロピレン | | |

MADE IN CHINA

# お手入れの方法

**電源コードの収納**

電源コードは給電スタンドに収納することができます。
給電スタンドの裏にコードを巻きつけ、給電スタンド切り込み部分にコードをセットします。
収納時・使用時いずれの場合もコードは必ず切り込み部分にセットして使用してください。




**⚠ お手入れは必ず電源プラグを抜き、ケトル本体が冷めた状態で行なってください。**

### ～本体外側・給電スタンドのお手入れ～

- ●乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたく絞った布で拭き取ってください。丸洗いやシンナー・ベンジン・灯油などの有機溶剤、研磨剤入り洗剤の使用はおやめください。
- ●故障の原因になりますので、水をかけたり、水の中に入れたりしないでください。
- ●みがき粉やクリームクレンザーなどを使用しますと本体に傷をつけるおそれがありますので、使用しないでください。

### ～本体内側のお手入れ～

- ●ケトル内側の白い汚れは、水に含まれるミネラル成分が固着したものです。(注) 衛生上問題はありませんが、定期的に以下の方法でお手入れをしてください。

1. 中性洗剤とスポンジで洗った後、水でよくすすいでください。その後は乾いたふきんでしっかりと拭いてください。
2. ステンレス部分は、表面が傷つきますので強くこすらないでください。
3. 汚れが落ちにくい場合は市販されているクエン酸をご使用されますとよりきれいになります。(汚れによっては落ちにくい場合があります。)
   水は注ぎ口より捨ててください。以下の手順にしたがっておこなってください。

1) 水を MAX 目盛り (1.0L) まで入れ、その中にクエン酸を 30g 程度入れてかき混ぜてください。
2) フタを閉めて沸騰させ、その後 1 時間放置します。
3) お湯を捨て、水でよくすすいでください。汚れが残っている場合は、スポンジ等で拭き取ってからよくすすいでください。
4) クエン酸のにおいが気になるようでしたら、さらに水でよくすすいでから再度水を入れて沸騰させてからお湯を捨ててください。

- ● 本製品は食器洗い乾燥機のご使用ができません。

(注)水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分の作用により赤いサビ状、白い斑点状のものが現れる場合があります。市販のミネラルウォーターをご使用になると特に多く付着することがありますが衛生上問題ありません。※汚れが目立ってきましたら、クエン酸で洗浄することをおすすめします。(上記参照)

# 製品仕様

| | | | |
|---|---|---|---|
| 電　源 | AC100V　50Hz/60Hz 共用 | サイズ | 幅 220× 奥行 142× 高さ 205（mm） |
| 定格消費電力 | 900W | コード長さ | 約 1.2m |
| 最大容量 | 1.0L | 重　量 | 約 900g |
| 材　質 | 本体／ポリプロピレン・ステンレス　フタ／ポリプロピレン<br>ハンドル／ポリプロピレン　給電スタンド／ポリプロピレン | | |

MADE IN CHINA



# 故障かな？と思ったら

※次の点をチェックしましょう。

| こんなときは | 原　因 | 対　策 |
|---|---|---|
| 通電しない。<br>電源スイッチのライトが点灯しない。 | 電源プラグが抜けていませんか？ | 電源プラグを差し込んでください。 |
| | 本体が給電スタンドに正しくのっていますか？ | 正しくのせてください。 |
| | 電源スイッチのライトが点灯するまで指を触れていますか？ | 電源スイッチのライトが点灯するまで触れていてください。 |
| | 電源スタンド接続部に、金属片やゴミが付着していませんか？ | 金属片やゴミを取り除いてください。 |
| 注ぎ口や蒸気口から湯が自然にでる。 | 水を MAX 目盛以上入れていませんか？ | 水を満水表示以下に減らしてください。 |
| 注ぐときや、フタを開閉するときにカラカラと音がする。 | 万一転倒した場合、湯漏れを防止するためのおもりの動く音です。 | 故障ではありません。 |
| 湯の中で膜状のものが浮遊している。 | 水の成分 (ミネラル分) によるもので内容器の腐食ではありません。 | 故障ではありません。 |

### 水ににおいを感じる

- ●水道水をご使用された場合、カルキのにおいを感じる場合があります。お茶等をおいしくいただくときは、なるべく浄水を使用される事をおすすめいたします。

### 製品についてのお問い合わせ

製品についてご不明な点がございましたら、当社のお客様相談センターまでお問い合わせください ( 下記の「アフターサービスについて」を参照 )。
また、お客様ご自身での分解や修理は危険ですので絶対にしないでください。

# アフターサービスについて

**修理やお取り扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。**

### 製品の保証について

- ●この説明書には製品の保証書がついています。
  保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認の上内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

**保証期間：お買い上げ日から１年以内**

- ●保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
- ●保証期間後の修理について
  お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させて頂きます。
- ●当社修理技術者以外の人が分解・修理した場合は、保証・修理はできません。

### 修理を依頼されるとき

- ●「故障かな？と思ったら」の内容にて確認していただき、それでも異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店に製品と保証書をご持参の上、修理をご依頼ください。なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。

### 問い合わせ先

- ●ご不明な場合は、お買い上げの販売店または、株式会社ドリテックまでお問い合わせください。

輸入発売元　株式会社 ドリテック　〒 333-0802 埼玉県川口市戸塚東1-10-4 エクセレンテ1F
URL : http://www.dretec.co.jp
お客様相談センター　0120-875-019
(受付時間：月～金10 : 00～12 : 00, 13 : 00～16 : 00 祝祭日および当社指定休日を除く)

# 保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。
本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

| 品　番 | PO-311 | | |
|---|---|---|---|
| 保証期間 | 対象部品 | お買い上げ日より | 保証条件 |
| | 本体、給電スタンド | 1年以内 | 持込修理 |
| お買い上げ日 | 年　月　日 | | |
| お客様 | お名前<br><br>ご住所<br>お電話 | | |
| 販売店 | 販売店名<br><br>ご住所<br>お電話 | | |

## 〈保証規定〉

●次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
※ご使用上に生じる外観の変化。
※本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
※本保証書のご提示がない場合。
※一般家庭以外（例として、業務用としての使用）に使用された場合の故障および損傷。
●有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。
●お買い上げ後 1 年間の保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
●本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
●保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

輸入発売元　株式会社 ドリテック　〒 333-0802 埼玉県川口市戸塚東1-10-4 エクセレンテ1F
URL : http://www.dretec.co.jp

お客様相談センター　0120-875-019
（受付時間：月～金10 : 00～12 : 00, 13 : 00～16 : 00 祝祭日および当社指定休日を除く）